



今月の一枚

家族で除夜の鐘 (令和4年大晦日・順慶寺鐘楼にて)

# 順慶寺だより



印刷・発行 順慶寺  
2023年(令和5年)

## 2月号

VOL.352

### ◆◆ それぞれの除夜の鐘 ◆◆

順慶寺では、例年大晦日深夜23：45より除夜の鐘を鳴らしている。僧侶や役員が衝くのではなく、参詣に来られた方が、それぞれの反省を胸に除夜の鐘を衝くことになっている。最初の108回は、役員が数を数えるが、それ以降は、個々自由に衝いてもらっている。鐘の音は、例年25時ごろまで続く。

### ◆ 悪い行いをしないのは仏教の基本 ◆

今月の釈尊の言葉は、『ダンマパダ』より、

「もしも悪い行いをしたなら  
それを繰り返すな。」

悪い行いをしようと思ふな。  
悪い行いを積み重ねるのは苦しみである。」

(第一七偈)

からの出典です。

この一節は、同じ『ダンマパダ』の中に、釈尊の最も大切な言葉として残された、

「自らの心を浄め

いろいろな悪いことをならず

いろいろな善いことを行うこと

これがもろもろのブツダの教えである。」

(第一八三偈)

と似た言葉です。中国では、『七仏通戒偈』とも呼ばれ、「諸悪莫作、衆善奉行、自淨其意、是諸仏教」と漢訳された最も有名な一節です。

この『七仏通戒偈』は、日本においても古くから知られており、聖徳太子が遺言として息子に残した一節として、『日本書紀』に載せ



### 今月の釈尊の言葉

もしも  
悪い行いをしたなら  
それを繰り返すな

◆ダンマパダ(法句経)  
第二七偈より  
自ら悪業を為したものは、直ちにそれを反省し、再び同じことをしないように促す一節です。



### 若院のテーマカット NO.45



られています。

道元禅師も著『正法眼蔵』にある「諸悪莫作」の章で、仏教の中で最も大切なことは

「悪いことをするな、善いことをせよ」という

ことだと教える道林禅師が、「そんなこと三

歳の子どもでもできるではないか」とする白

居易に対して、「そうは言っても八十歳の老人

でもできないではないか」と答えた、白居易

と道林禅師との問答が取り入れられています。

「言うは易し行ふは難し」とも言いますが、いざににしても、悪いことと自覚できる身になること、自覚したら繰り返さないようにすること

は、仏教の基本姿勢です。

◇朝に念仏、夕べに念仏◇

最近、通信アプリ「テレグラム」に「仕事」と題するメッセージとともに、強盗や窃盗のバイトを依頼する事件が相次いでいます。これらは、一人の指示役から発せられた指示によって、見知らぬ若者が集まり、指示された内容に従って凶悪な犯罪を犯していく、まさに現代の闇のような事件です。

一連の事件で、実行役の一人として捕まった容疑者は、「カネに困って闇サイトの募集に応じ、二人を誘った」と供述していると言います。若さゆえに犯してしまったことでは済まない深い闇があるように感じます。

こうした犯罪に対して、SNSに有害な書き込みに対して削除の要請をするなどの規制を強化することが求め

られています。もう一つのどうして忘れてはならない大切な観点は、自身がいつでも悪いことをする身であると感じることがあるのではないのでしょうか。

古来より、真宗門徒のご家庭では朝一番に仏さまに手を合わせてから、一日のことを始めました。お年寄りが、毎日仏壇に手を合わせる後ろ姿を見て、育った方も多いはず。

これは、お年寄りが仏さまに自身の幸せを祈っていると思いきや、縁がくれば「いかなるいづるまいをもする」(『歎異抄』第十三章より)の私たちが常々、常に仏さまの前で身を正してから行動をするように躰けた、先祖の教えを頂いていたのだと思います。

何度もお念仏を繰り返して頂いているうちに、仏さまの深い慈悲心が身に染みるように感じます。

①七仏

過去七仏のこと。釈迦仏までに(釈迦を含めて)登場した七人の仏陀をいう。古い順から、(1)毘婆尸仏(2)波波羅樹下にて成道した。三会に説法し初会に十六万八千人、第二会に十万人、三会に八万人を済度した。(2)尸棄仏(3)分陀利樹下に正覚し初会に十万人、二会に八万人、三会に八万人を済度した。(3)毘舍浮仏(4)菴羅樹下にて成道し、二会に説法し初会に七万人、二会で六万人

を済度した。(4)俱留孫仏(5)尸利樹下にて成道し第二回の説法にて四万人の比丘を教化した。(5)俱那含牟尼仏(6)烏曇婆羅樹下において成道し、第一回の説法をもって三万の比丘が阿羅漢果を得た。(6)迦葉仏(7)尼拘律陀樹下において成道。第一回の説法において弟子二万人を済度した。(7)釈迦(牟尼)仏の七仏をいう。いわゆる過去七仏信仰の代表的な例。(三昧抄より)



もうすぐ節分ですね。真宗では、豆まきや最近流行っている恵方巻きを食べることはやらないんですか？

ようやく春を迎える節目の節分に、豆まきや、テレビなどで宣伝している恵方巻きを食べることは、楽しみの一つですね。

豆まきは、多くの神社やお寺でも季節の行事として行われていて、一般的なものです。節分は、太陽暦で立春が一番近い新月を元旦をした、中国の「春節」の風習が日本に伝わったもので、古くから日本でも親しまれています。一節には、中国で行われてい

る爆竹が豆まきに変化したものだとされているようです。恵方巻きも、春からスタートする一年に、健康で良い方向に向くように海苔巻きを食べるという関西発の習慣とされています。その他、柀鱒、目籠、護符など、厄を払ったり福を呼び寄せる意味の習慣が沢山ありますね。しかし、こうした儀式を行っても、コロナ禍が起こったように、善いことも悪いことも起こります。健康でいることが幸せだとか、自分だけうまく行っていれば幸せだとか考えると、自分がそうでなくなったとき、思わず「何で私だけが」という愚痴が溢れてきます。

ですから、真宗では吉凶禍福にとらわれず、「門徒ものしらず」と言われるように、ただ阿弥陀様のことを信じて毎日生活することを勧めます。

お寺とともに

冬の朝



十年に一度という大寒波襲来の日の朝、凍てつく寒さに身を縮ませて境内に出て行くと、子供たちの大きな歓声が聞こえてきました。「オーイー氷割れたよー!」「オーイーこっちも氷張ってるよー!」

と、本堂の前の雨水受けや蓮の大鉢に見事に張った氷を見つけて大はしゃぎしていたようです。通学団の子供たちはいつも、バラバラに集まって、それぞれに時間を潰し、集まって出発していくのですが、今日は目をキラキラさせて団結しています。

「冬はつとめて、雪のころはさらなり」(『枕草子』)昔の人たちは、苛酷な冬の朝も、自然を愛でる心がありました。令和の子供たちも負けてはいません。一方の私と云えば、吹雪で飛び散った落ち葉や、冷気に傷んだ花たちが気になり、雑事に追われるばかり。心の貧しさにハッとさせられた出来事でした。



第三十四回 宗祖のお手紙

大学で親鸞聖人のお手紙を読むという講義がありました。そこには師法然の教えが上手く伝わらない事への悲嘆であったり、自身の老いに対して弱音を吐いているような一節や、返信が収まりきらず前の余白に追



### 修正会写真館



本堂でのお参り(↑ →おつとめ)



お菓자에大喜び

お屠蘇の接待

山門の開門



新春寄席に集まった皆さん(1月8日)

年末大掃除に集まった皆さん(12月29日)

# 修正会・年越し勤行開催

## コロナ禍でもお屠蘇のふるまいを再開

当山順慶寺では、今年も、大晦日深夜十一時四十五分から本堂でお勤め、鐘楼堂では除夜の鐘を衝き、一年の反省をしつつ、新年を迎えました。

今年は、神社の祭礼がコロナ禍で縮小された影響もあって、早くから順慶

寺に人が集まり、本堂も鐘楼も大賑わいとなりました。

本堂では、例年通り、正信偈のお勤め、若院による御文の拝読、住職の年頭所感、二人の責役と護学会会長の挨拶がありました。

今年もコロナ禍での感染予防のために、お汁粉の接待は中止にして、おしるこ缶を配布しましたが、お屠蘇の振る舞いは、かわらけの使用をやめてカップで再開しました。

終わりに本堂の参詣者には、今年もお年玉のお菓子袋を配布しました。今年のお菓子袋の住職年頭の言葉は、「善きも悪しきも すべては殻の外にある 辛いことが身に染みるならいよいよ芽生えの時である」でした。

1月度護学会物故者  
釋尼方富

1月4日寂 長谷川富子(85)  
市場下組 遠藤春美様の母

釋尼喜清

1月22日寂 塚本喜代子(95)  
大府市 塚本武様の母

### 寺カフェ有志で企画 新春寺カフェ寄席開催

さる、1月8日、有志で行っている寺カフェに、愛知教育大学・落語研究会から、花乃家百合子さんと光家いたちさんを迎えて、新春寄席が行われました。二人の巧みな話芸に、寺カフェに集まった皆さん、大笑いで盛り上がりました。



新春寄席(1月8日、順慶寺本堂にて)

### 編集部短信

◆本堂の灯籠修理 〓 本年1月より、およそひと月の予定で、本堂の御本尊前と祖師前の灯籠が京都・犬塚仏具店に修理に出された。修理の間、灯籠の照明は中止とし、修理完了のち、御本尊と宗祖御影が灯籠からライトアップされる予定。

◆「参門会」発足 〓 さる1月4日、五十代を中心に順慶寺に集う会をスタートした。初めに会合で、会の名称を「参門会」とし、会長に加藤泰世氏を選出。その他、1月と8月に例会をすること、報恩講で何らかの助力をすることなどが決まった。

### 編集雑記

1月、教化委員会で提案されていた、五十代を中心に次世代の会を結成しました。昨今、都会に出て行った人たちが、なかなか跡を継がない事例が増えてきた中で、何とか踏みとどまったと思います。集まると、皆さん前向きで、これをやろう、あれをやろうと声が出て、逆に活力をいただきました。(住)

正月が明けて暮れに続き雪が降りました。小・中学生の時は雪が楽しくて仕方がなかったのですが、道路の雪や約束の時間など、今は心配事ばかり。純粋に雪を楽しむ気持ちはどこに行ってしまったのでしょうか。(若)



# 2月の主な行事予定

日	曜	行事内容	掃除当番
1	水		
2	木		木-1
3	金		
4	土		
5	日		
6	月		
7	火		
8	水		
9	木		木-2
10	金		
11	土		
12	日		
13	月		
14	火		



15	水	観音堂報恩講(13:00、泉田町・観音堂)	
16	木		木-3
17	金	二十一組門徒会研修(13:30、東境町・泉正寺) 定例責役総代会(19:00、順慶寺玄関)	
18	土		
19	日		
20	月		
21	火		
22	水		
23	木		木-4
24	金		
25	土		
26	日		
27	月		
28	火	宗祖聖人御命日(7:00、順慶寺本堂)	

## 2月行事内容 詳細

### 観音堂報恩講

2月15日(水)

午後1時 泉田町・観音堂

法話 西尾昌隆 三浦真教氏

順慶寺門徒である、鬼頭家が護る観音堂で、報恩講が勤められます。一昨年はコロナで中止となり、昨年は僧侶のみの内勤めとなりましたため、三年ぶりの開催となります。午後から半日のみのお勤めですが、皆さまお誘い合わせの上、御参詣下さいませようお願いいたします。

### 二十一組門徒会研修

2月17日(金)

午後1時30分 東境町・泉正寺

岡崎教区第二十一組の門徒会員に対する研修会が、二月と三月の二回に亘って開催されます。第一回目は、「組門徒会の役割と制度」と題して、岡崎教区駐在教導である、石川慧悟氏を講師に招き門徒会の役割について詳しく教えていただきます。

なお、第二回目は、「大浜騒動」についてのお話を、講師に青木一範氏を招き、三月十六日に一ツ木町・法林寺にて開催の予定です。

## おしらせ

### ●2月の寺カフェはお休み

順慶寺の南落間を中心には有志によって運営されている寺カフェも好評のうちに年越しできました。2月は、大寒の寒い時期となりますので、ひと月お休みをいたします。3月1日より再び開店する予定です。

### ●本堂・同朋新聞の残部について

一昨年より、本堂に本山発行の同朋新聞を置いてあります。当

月は本堂正面に、一年分のバックナンバーは本堂北側に常設してある棚に置いてあります。なお、バックナンバーは、一年間に限り順慶寺に保管する予定です。

### ●本山・慶讃法要の回参について

本山・東本願寺では、3月25日から4月29日まで、親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要を厳修します。その間、順慶寺からも回参を出す予定です。詳細は追って呈示します。

### じゅんこのときめき歳時記

## ロウバイ

みなさん、大寒、寒いですね。おかわりありませんか。先日京都でも雪が降って、とても寒かったです。

梅の花が咲く前に、ほのかな香りとともに黄色い花が咲く木といえば、ご存知ロウバイですね。一番寒い頃に花が咲くので、よく玄関先に植えたり、生け花に使ったりしますね。ロウバイは、梅の親戚のように思いますが、実は、ロウバイ科という種類で梅とは全く違う科に属するのだそうです。

ロウバイのことを英語では、ウインタースイート(冬の甘さ)と命名されているようですが、ロウバイの実はアルカロイドという毒を含んでいるので、

間違っても食さないように注意されています。もともと、アルカロイドは動物に食べられないように特定の植物がもつ成分だそうです。

### 咲きつゞく

### 臘梅にあらず寒の日々

高木晴子

